

ならのき便り

楽しかった移動動物園



9月25日には、『園見学説明会』が行われました。

来園して下さった方々には、園の教育方針やその他の説明、園内の見学等を終えた後に移動動物園に参加していただきました。皆さんはとても楽しそうに、和やかに動物たちとふれ合っておりました。

いつも1人ぼっちの我が園のマスコット、てこちゃんもこの行事に参加しました。元は移動動物園に飼われていたのが、群れに入るといじめにあうということで、この園に引き取られてきたのです。この日に参加したアヒルは2羽なので、いじめの方は大丈夫かも知れないということで、動物たちのいるゲージの中に入れました。

同じアヒル仲間と一緒にあって見るからにうれしそうでしたが、そのうちになんとなく相手にされないような雰囲気になりました。

てこちゃんは女の子だと思っておりましたが、何時の頃から、尾っぽの羽の1部が巻き上がるという男の子の長が現れておりました。2羽はどれも女の子のようでした。てこちゃんは男の子ですでに大人になっているのに、3羽の中では身体が1番小さいのです。そうすると、群れに入ると馬鹿にされて虐められるそうです。アヒルの世界もなかなか厳しいようです。

そして3日後の28日には、在園児のための移動動物園が行われました。庭に集まった動物たちの入ったかご類を見ると、てこちゃんは落ち着かなくなりました。小屋から出ると、すぐに仲間のいる囲いの側に駆け寄っていきました。仲間たちの入った籠に、盛んに頭やくちばしを押しついたり、穴に差し込もうとしたりしておりました。

この日も仲間たちとゲージの中で嬉しそうに過ごしておりました。子どもたちも、思い思いの動物とふれ合いながら、目を輝かせて楽しんでおりました。

ポニーの背中でポーズを決めたり、お気に入りの動物に何とか餌をたべさせようとしていたり、得意そうに蛇を首に巻いたりしておりました。今回は、初めて『ハリネズミ』が展示されました。背中一杯に鋭い針が立ち上がっているのですが、とても愛くるしい顔をしておりました。この1日、園庭は子どもたちの活気に溢れておりました。

このような行事を体験しながら、生き物と触れ合うことの喜びを何時までも忘れずに、小さな『いのち』の愛おしさを、心の隅にでも持ち続けて欲しいと思います。

動物たちのなかに、東北大震災に遭って、辛うじて生き延びたという犬がおりました。

ひたすら寝そべっていて、あまり働こうとはしません。周りには興味が無いよ、といわんばかりに前足にあごを載せて目だけを動かしています。散歩をさせようとしても動きません。その内、スタッフが子どもたちに山羊の乳絞りを見せて、その乳の入った容器を差し出すと、嬉しそうに飲んでおりました。「このわんちゃんは、働かないでお給料だけ貰っているのね」などと職員と話した後、その顔を眺めると、いかにも愛嬌があって居るだけでも心が癒やされて、これもわんちゃんにとっては立派に仕事をしていることになるのかなと思いました。

今回、『いじめ』にあっていたてこちゃん、人間も含めて動物の社会には『いじめ』は付き物なのではないでしょうか。

人間社会も、今、タリバンの残虐な行為や中国等の覇権主義が世界を不安に落とし入れております。立場の強いものが弱いものを苦しめるという形は、幾世代が経ても一向に変わる様子はありません。それは大きくは国家間でも、小さくは会社という大人の世界や地域や学校、或いは家庭でも止むことはありません。いわれのない『いじめ』や虐待に会う被害者の人たちは本当に心が痛みます。それとともに、『いじめ』を行わなければならないような心の持ち主も、誰かから辛い仕打ちを受けているのかもしれない。

自分が生きがいを持って自立して日々を送っている人、周囲の人から愛された経験を感じている人、或いは心優しい人は、人や動物を、故意に傷つけてそれで満足するようなことはしないでしょ。虐める側も被害者なのかもしれません。

新聞を読んだり人の話を聞いたりすると、時々思うことがあります。宇宙や深海深くまで探求する科学や技術は進むのに、人の心は原始の時代からたいして変わっていないのではないかと。人々が戦争を止めて、お互いに認め合い、許し合う心を持てば、世界も随分住みやすくなるかもしれないのに、どうしても憎しみ合いが止みません。

科学や技術の進歩も大切だとは思いますが、もし、『博愛の精神』や『人のために尽す』という心を養い育てる方法があれば、人間関係も大きく変わり、地球環境もこんなにひどい状態になることもなく、人と共存するあらゆる生き物たちも幸せになるのではないかなと。一粒飲めば心が優しく穏やかになり、世界の脅威となっている各国の指導者も世界平和に尽そうという気持ちになるし、いじめっ子たちも、優しい人に心を変えられるという、そんな薬が出来たらいいな、などと、仲間はずれになっているてこちゃんを思い出して、つまらないことを考えてしまいました。もっとも、その実現は、薬よりも、教育かもしれないとは思いますが。

浜野和子